

高等学校

令和6年度（1学年用）

教科 芸術

科目 美術Ⅰ

教科：芸術

科目：美術Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 3 組

教科担当者：

使用教科書：（ 光村図書 美術 1 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
形や色彩、材料、光、あるいはそれらが生み出す様々なイメージなど、私たちが対象や事象を捉える際の造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図・創意工夫・効果・働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、それを表現したりすることができる。	主体的に、造形的な視点を持って美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術に親しみ、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			絵・彫	デ	映						
前期	○アートとは何か 【思考力、判断力、表現力等】 美術という概念を、自分なりの考え方や価値観を持って思考し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の鑑賞を通して、美術に対する認識をより深化し、柔軟に対象を見つめることで美術に対する興味や関心を高めることができる。	●鑑賞 ○作品の鑑賞 ○作品の分類 ○自身の分類の判断基準についての考察 ○美術の定義の考察 ・アートカード・ワークシート など				○	【思考力、判断力、表現力等】 美術という概念を、分類を通して自分なりの考え方や価値観を持って思考し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の鑑賞を通して、美術に対する認識をより深化し、柔軟に対象を見つめることで美術に対する興味や関心を高めることができる。			○ ○	2
	○繰り返しの模様 【知識及び技能】 模様についての基礎的な知識や、敷き詰めによるパターンの作り方をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 色や形、配置などを考え、効果的な模様のデザインについての構想を練り、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 模様の色や形、モチーフが私たちの感覚・感性に及ぼす働きについて関心を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。	●デザイン・絵画 ○伝統文様など模様・文様の鑑賞 ○パターンについて ○デザインの構想 ○版の制作 ○布への転写 ○作品の鑑賞 ・ワークシート・版・布・布絵の具 など	○	○		○	【知識及び技能】 模様についての基礎的な知識や、敷き詰めによるパターンの作り方をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①贈る相手や場面を想定して発想をひろげ、色や形、配置などを考え、効果的な模様のデザインについての構想を練ることができる。 ②版を用いて布にへ転写する際、模様の重ね方や色・配置を吟味し制作することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①模様に関する歴史や文化、色や形、モチーフが私たちの感覚・感性に及ぼす働きについて関心を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。 ②自他の制作物のよさや美しさなどを味わっている。	○	○	○	12
	○写真にうつるもの・写真にうつすもの 【知識及び技能】 写真に関わる基本的な知識や機能を知り、目的に応じて活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 写真を構成する要素が私たちの感覚や感性に及ぼす影響や働きについて考えて構想し、写真で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 写真を構成する要素や、写真が私たちの感覚・感性に及ぼす働きについて関心を持ち、試行錯誤しながら写真表現を楽しむことができる。	●映像メディア表現（写真） ○写真の3要素 ○スマートフォンのカメラ機能 ○写真の構図・光・色 ○被写体の吟味 ○写真集の制作 ○作品の鑑賞 ・ワークシート・スマートフォン・PC ・レフ板 など				○ ○	【知識・技能】 ①写真に関わる基本的な知識について理解できている。 ②スマートフォンのカメラを適切に扱うことができる。 【思考・判断・表現】 ①写真を構成する要素が私たちの感覚や感性に及ぼす影響や働きについて考えることができる。 ②撮影の設定や構図を構想し、写真で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①写真の要素とその効果について興味・関心をもって学習に取り組むことができる。 ②自他の撮影した写真のよさや美しさなどを味わっている。	○	○	○	16
後期	○音と色と形と 【知識及び技能】 モダンテクニックに関わる基本的な知識や技法を知り、音楽に合わせて表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の表すイメージや歌詞から発想を膨らませ、色や形、動勢を意識しながら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 モダンテクニックによる偶発性を楽しみながら、全体のイメージで捉え、表現につなげることができる。	●絵画（抽象絵画） ○抽象絵画の鑑賞 ○モダンテクニックについて ○グループ制作（野外制作） ○作品鑑賞 ・ワークシート・アクリル絵の具 ・ストロー など	○			○	【知識・技能】 モダンテクニックに関わる基本的な技法について理解し、表現することができる。 【思考・判断・表現】 自身の選択した曲の曲調や使用されている楽器、歌詞を自分なりに解釈し、色や形、線などの描写や動勢を意識し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①モダンテクニックによる偶発性を楽しみながら、表現と意図を連動させ、全体のイメージで捉え表現を試行錯誤することができる。 ②自他の表現のよさや美しさなどを味わっている。	○	○	○	6
	○学校に潜むイメージとカタチ 【知識及び技能】 粘土造形に関わる基本的な知識を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学校生活と自己を見つめ、感じ取ったことや考えたこと、想像などから豊かに発想し、創造的な表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 形のないイメージを形として表すことや粘土造形に関心を持ち、試行錯誤しながら粘土造形を楽しむことができる。	●彫刻（塑像） ○自身の学校生活の振り返り ○粘土について ○作品の構想・アイデアスケッチ ○作品制作 ○粘土の着色について ○作品の設置と写真撮影 ○作品鑑賞 ・ワークシート・粘土・へら など	○			○	【知識・技能】 ①粘土に関わる基本的な知識について理解している。 ②構想をもとに、粘土造形で表すことができる。 【思考・判断・表現】 学校生活と自己を見つめ、感じ取ったことや考えたこと、想像などから豊かに発想し、創造的な表現の構想を練ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イメージと形の関連や粘土造形に興味・関心を持って学習に取り組むことができる。	○	○	○	16
	○私にとってアートとは何か 【思考力、判断力、表現力等】 美術という概念を、自分なりの考え方や価値観を持って思考し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1年間の授業での学びを振り返り、美術に対する認識をより深化し、美術と自分や自分の生活とのつながりについて興味や関心を高めることができる。	●振り返り・まとめ ○1年間で制作した作品の鑑賞 ○自身の活動についての振り返り ○美術の定義の考察 ○グループ発表 ・ワークシート など				○	【思考力、判断力、表現力等】 美術という概念を、自分なりの考え方や価値観を持って思考し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 1年間の授業での学びを振り返り、美術に対する認識をより深化し、美術と自分や自分の生活とのつながりについて興味や関心を高めている。			○ ○	2 合計 54